

ね ら い	行 事	• 健康診断 • プール開き • 避難訓練 • 身体測定	長 時 間 保 育	• 十分に休息を とります。 • 汗飲・転倒 に気をつけ 安全に過ごす。	家 庭 連 携	• 汗をかいたらこまめに着替えら れるように、調節しやすい衣服を 準備してもらう。 • 皮膚の状態に気を付け、早めに 対処してもらうようにお願いをす る。 • 園の様子や健康状態の連絡を丁 寧に行う事で、保護者の安心感に つなげていく。	自 己 評 価	• 一人ひとりの動きを見守ることで適 切な言葉がけができ、情緒的な絆が 芽生えている。 • 発熱や下痢などの症状の子どもが 何人も出たが、看護士と連携をとり、 保護者に連絡が早めにとれた。 • 子どもが興味を持つ玩具、絵本、歌 のCDを用意したこと、遊びの幅が 広がることが出来た。					
今月の内容（養護・教育）		環境構成			配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り						
• 室温、湿度を調節し快適に、機嫌よく ゆったりと過ごせるようにする。 • 保育者の丁寧な関わりのなかで、安 心して自分の欲求を表現する。 • 個々の発達に合わせた環境で十分に 遊ぶ。 • 気温や天候などの状況や、乳児の体 調に留意しながら散歩や外気浴を行 う。 • 楽しい雰囲気の中で意欲的に食事が できるようにする。 • 気持ち良く水遊びやシャワーを行う。		• 室内を適温に保つとともに汗を拭く ことや着替えがすぐにできるように準 備する。 • 安全に歩いたり伝い歩きなどができる ようなスペースを確保し怪我のない よう見守る。 • 発見や探索が楽しめるよう玩具を工 夫する。			• 室温や湿度、衣服、布団などの調節をし 快適に過ごせるようにする。 • 外気浴の後は水分補給をする。 • 様々な食材や形状に慣れられるように、 気持ちを添えた言葉をかけて、楽しく食事 ができるようにする。 • 玩具の消毒を丁寧に行い、衛生面に気 を付ける。		• ゆったりと過ごせるようにする。 • おやつは食べたい子どもから食べ始め るようしたり、自分で食べたがる子どもにはス プーンに食材を載せて持たせたりして、気持ち を受け入れた。以前より意欲を持って食べれるよ うになったので、今後も誉めたり励ましたりしてい きたい。 • 晴れて過ごしやすい日は公園へ行き、歩ける 子どもは歩行を楽しんだ。つたい歩きやハイハイ の子どもも、保護者に靴を用意してもらい、いろ いろな遊びができるようにしたい。						